

2016年2月15日

会員各位

SAM東京支部事務局

2016年3月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2016年3月度例会のご案内を申し上げます。

今回は、太田様のご紹介で新井宏様にご登壇いただき、『「躁鬱症」を病む韓国と「地政学」』をテーマにお話しいただきます。

新井様は、日本金属工業(株)の元常務で、韓国の国立慶尚大学の招聘教授を務められておられました。ご専門は金属考古学、古代計量史です。

今回の例会では、①「先進国」と「後進国」が同居する「躁鬱症」の韓国、②強国に囲まれ二度も国を失ったポーランドと似る「地政学」、③危険な「均衡者外交」「いいつけ外交」、④韓国人の気質、⑤後出しジャンケン、動くゴールポスト、遡及立法常習犯、⑥慰安婦問題と竹島問題 等についてお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日時：2016年3月15日（火） 12:00～13:40

■会場：(財)商工会館 7階会議室

千代田区霞が関3-4-2 TEL:03-3581-1634

■スピーカー：新井 宏様（元日本金属工業(株)常務、前韓国国立慶尚大学招聘教授）

【略歴等】：1937年(昭和12年)生。1960年東京工業大学物理卒業 原子核物理専攻。1960～2001年日本金属工業(株)勤務、常務取締役。2001～2009年韓国国立慶尚大学招聘教授(工学博士)。著書に、『まぼろしの古代尺』（吉川弘文館1992）、『理系の視点からみた考古学の論争点』（大和書房2007）、共著『古代の鏡と東アジア』（学生社2011）、共著『遙かなる和鉄』（日本鉄鋼協会2015）、『金属を通して歴史を観る』バウンダリー(1998～2002)、鉄鋼協会ヘンダーソン賞、金属学会論文賞ほか金属系の論文20編の他、歴史考古学系論文50編など。

■テーマ：「躁鬱症」を病む韓国と「地政学」

■会費：3,000円（ビジターの方は5,000円）

■ご出欠：3月8日（火）までに同封ハガキでお知らせください。

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日（土日を除く）までにご一報ください。

■次回：4月度例会は4月5日（火）を予定しております。

以上

【事務局】〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15
(学)産業能率大学 総務課内(福田)
TEL 03-3704-9046